

令和6年度 加古川市立志方東小学校学校経営方針

1 学校教育目標

「こころ豊かな たくましい子」—自ら考え、正しく判断し、やりぬく子を育てる—

2 目指す児童像 「生きる力」を育む

○考える子「知」 ○やりぬく子「知」「徳」 ○助け合う子「徳」 ○たくましい子「体」「徳」

3 重点目標

- I 知**
- ・確かな学力を確立する学習指導の充実を図る。自ら課題を見つけ、学ぶ意欲と態度の育成を重視する。
 - ・協同的探究学習に基づく授業方法についての研究を継続し「わかる学力」の育成とともに「できる学力」の定着に取り組む。
 - ・1人1台端末活用による個別最適化された学習指導の定着を図る。
 - ・協同的探究学習をさらに発展させ、ICTとの融合を目指す「加古川型スマート探究学習」に昇華させる。
 - ・これまでの教育実践と最先端のICTのミックスを図るための教師の資質向上に努めるとともに、**教育DX「デジタルトランスフォーメーション」を推進する。**

- II 徳**
- ・望ましい人間関係を育む特別活動の充実を図る。
 - ・自立と共生を目指す特別支援教育を推進する。
 - ・人間的なふれあいと内面理解に基づく生徒指導の充実を図る。
 - ・体験活動の意義を再確認し、児童の体験活動の機会や場所を確保するなど、充実を図る。
 - ・道徳の時間を要として教育活動全体を通じて、人間としてより良く生きるための基盤となる道徳性を養う。
 - ・いじめや不合理なことは人間として絶対に許さないという意識を徹底させるとともに、児童の実態や発達段階に応じた情報モラル教育を実施する。
 - ・命の大切さや自他に対する肯定的な態度（多様性の認識）を育成する人権教育の推進。
 - ・全校同一時間に実施する道徳科の目標・内容を踏まえた指導方法の工夫改善を図る。

- III 体**
- ・体育科や休み時間において運動に親しむ資質や能力を計画的に育成しながら、体力・運動能力の向上を図ると共に、体力づくりの習慣化を目指す。
 - ・食育及び安全防災教育を推進するとともに、学校安全管理体制の充実を図る。

4 目指す教師像 「児童・保護者・地域住民から信頼される教職員」

- ・教育のプロとして児童理解に努め、専門性と実践的指導力を組織的に向上させる。
- ・教育に責任感と使命感を持ち、人権感覚を磨き、豊かな人間性を備える。
- ・社会の変化に対応するために、自己変革力の醸成に努める。
- ・非違行為をさせない職場環境の醸成に努める。

5 目指す学校像

IV **地域の光となれる学校** ～地域とともにある学校～

- ・志方地区学校運営協議会（コミュニティスクール）の推進
 - *コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）とは、「地域とともにある学校づくり」を目指し、「目指す児童像」「学校教育目標」のビジョンを保護者や地域の方と共有し、目標の実現に向けて熟議し、ともに協働していく仕組みのこと。
- ・豊かな自然に囲まれた小規模校であり、地域の手厚い支援を受けられるという学校の特色を生かした教育活動を展開する。一方、本校が抱える教育課題とその解決策を共通理解したうえで、日々の教育活動に取り組む。
- ・開かれた学校づくりに積極的に取り組み、「心をこめて精一杯活動」を継続し定着させることによって、学校、家庭、地域が協働する「地域とともにある学校」の実現を目指す。
- ・1人1台端末における児童の活用能力などを生かし、地域の課題解決について積極的に関与する態度を育て、地域に貢献する児童の育成を図る。
- ・いじめ対策等、安心安全な学校づくりに努め、信頼される学校づくりに取り組む。

5 働きやすい職場を目指して

- ・学校における事務を迅速かつ便利にするなど、校務の効率化（**教育 DX 含め**）を図り、さらに業務改善に努める。
- ・ワーク・ライフ・バランスに配慮された職場環境の中で、教職員一人一人の個性と能力が発揮でき、意欲的に教育活動に取り組むことができる、人権意識の高いハラスメントを許さない学校づくりを図る。